

阿賀野川

aganogawa E-toko dayori

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

まとり ほうらい そんちゆうだいばんにの
「馬取集落にある寶來寺の伝統行事・村中大般若」(場所:阿賀町豊実丁) 撮影:山口冬人氏(公益社団法人日本写真家協会会員)

もくじ

- インフォメーション — SDGsをさぐる【大河編】 — 8
- 特集3 令和5年度パネル巡回展 — 阿賀野川流域地域 水と大地の — 6
- 特集2 阿賀流域再発見・連続ツアー講座2023 — 清らかな水を守り活かす、阿賀野川上流域の持続可能な豊かさとは? 開催レポート — 4
- 特集1 阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム(第12回)開催のお知らせ — 再生フォーラム — 2

阿賀野川流域のSDGs^(※1)を具体化していくために

大河・公害・大地という切り口から、
流域の「環境」「人権」「地域」を探る

F M事業^(※2)では今年度から、「阿賀野川流域の歴史や文化が織りなす光と影」への理解を深めた上で、「流域での現在の暮らしや地域の未来」を模索していきたいと考えています。しかし、こうした「持続可能な地域の今後」について、具体的に何をどのように探れば良いかは、あまり判断していません。

現在、国や社会が持続可能に発展していく目標として、世界中で「SDGs」が推進されています。「SDGs」は17の目標から構成されますが、これらを整理すると「環境」「人権」「地域」に大別されます。F M事業では、この3つの視点^(※3)を掘り所に探ろうと考えています。

今号でも紹介していますが、毎年開催されるパネル巡回展について、今年度から「流域のSDGsを探る」という共通テーマのもと、3年かけて【大河編】(1年目)、「公害編」(2年目)、「大地編」(3年目)を展開します。F M事業では今後、阿賀野川流域を特徴づける大河・公害・大地という切り口から、流域を持続可能にする3つの視点「環境」「人権」「地域」について考えを深めていきます。

※1「Sustainable Development Goals」(= 持続可能な開発目標)の略称。詳細は P.2 参照。 ※2「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細は P. 8 参照。 ※3 詳細は P. 7 参照。



めまぐるしく変化する世界をしなやかに生き抜いてきた、お笑い芸人としての人生トークもまじえながら、これまでのお笑い授業の軌跡を振り返りつつ、SDGsや新潟水俣病について紹介します。



新潟水俣病を伝える授業の様子

新型コロナウイルスの感染拡大以降から、「新潟県立環境と人間のふれあい館-新潟水俣病資料館-」の事業の一環として、高橋なんぶさんからは、主に2つの授業に関わってもらっています。

一つは、ふれあい館の一日館長に就任して親子が水俣病への理解を深める授業、もう一つは水俣市と阿賀野川流域の小学校がリモートで交流して学びを深め合う授業です。



開催場所 新潟市秋葉区文化会館・練習室1 (新潟市秋葉区新栄町4番23号)

参加定員 40名 (抽選) **参加費** 500円/名



当日は、阿賀野川流域の旬の食材を使った、料理家・佐藤千裕さん(C's kitchen)特製のスイーツ付き★

主催 ● 新潟県 共催 ● 新潟市 後援 ● 五泉市・阿賀野市・阿賀町 企画・運営 ● あがのがわ環境学舎



社会課題をエンターテインメントする、地産地消のお笑い集団

これまでの新潟にはなかったお笑い産業を確立すべく、1997年の立ち上げからさまざまな活動を続ける。全国初の地方発信型お笑いプロダクション。ライブ活動、テレビ、ラジオ、イベント出演などのほか、学校での講演、企業・団体の研修会、その時々々の社会問題を扱った討論会など、多種多様な現場に笑いを通して関わり、既存の「お笑い」のイメージにはなかった活動形態が話題を呼んでいる。

お笑い芸人高橋なんぶさんプロフィール

1981年生まれ。新潟県長岡市出身。「吉本興業主催 全国お笑いコンテスト in 東京ドーム」優勝。お笑い芸人として数々の実績を残すと共に「お笑い授業」と銘打った独自の講演活動を展開。学校、教育関係での活動は1,700校を超える。中学時代のコンプレックス克服体験、2年半の世界一周体験などの経験も活かしたコミュニケーション方法を楽しい語り口で伝える。著書「米十俵〜高橋なんぶのお笑い授業」、【レギュラー出演中】BSNラジオ「高橋なんぶの金曜天国」毎週金曜日・午前9〜12時。

お申込方法 申込期限 ● 2024年3月15日(金)まで

下記事項を電話やFAXにてお知らせいただくか、申込フォーム(QRコードまたは下記URL)からお申込みください。抽選結果は、3月17日(日)までに郵便またはメールでお知らせします。お知らせが届かなかった方はお問い合わせ願います。



一般社団法人 あがのがわ環境学舎 電話・FAX:0250-68-5424 URL: <https://forms.gle/BpN9SkP7Zsxvsp3k8>

参加申込書 阿賀野川エコミュージアムを目指す 新潟お笑い集団 NAMARA 高橋なんぶ大人のお笑い授業

フリガナ お名前	住所	〒
電話番号	フリガナ ご同伴者名 (※いらっしゃれば)	

※当日連絡が取れる携帯電話番号優先

※いただいた個人情報は、「阿賀野川エコミュージアム」及び「阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム」の開催案内や実施、及び「阿賀野川え〜とこだよりの」送付を目的とした用途以外に使用することはありません。なお、ご同伴者を含めて申し込まれた場合は、同じグループとみなして抽選いたしますので、抽選結果は別々にはならず一緒になります。

特集
1



阿賀野川エコミュージアムを目指す
流域再生フォーラム(第12回)



高橋なんぶ 大人のお笑い授業

コミュニケーション、
SDGs(エスディーゼズ)、
そして、新潟水俣病まで



with ジャックポット
(春巻マサシ/大野まさや)

2024年3月20日(水・祝) 14~16時 開催
(開場:13時30分~)

お笑い授業でSDGsを学ぼう
新潟お笑い集団NAMARA(ナマラ)に所属し、新潟県内外の小・中学校などへコミュニケーションなどをテーマに日々お笑い授業を届ける高橋なんぶさん。最近、新潟水俣病を伝える授業も行い、SDGsに通じる様々なテーマを広く手がけています。今回は、今年度のFM事業を振り返りつつ、高橋なんぶさんらを講師に迎え、新潟水俣病やSDGsなどへの理解を深める、大人向けの面白い授業を特別に開催します！

お笑いSDGs解説 もあるよ!



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◀ 17の目標(※18個目のアイコンは、SDGsを表すカラーホイール)

エスディーゼズ

SDGsって何? SDGs(エスディーゼズ)とは、「Sustainable Development Goals」(=持続可能な開発目標)の略称で、持続可能でよりよい世界の実現を2030年までに目指す国際目標のことです。2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国の全会一致で採択されました。

「安全な水とトイレを世界中に」「質の高い教育をみんなに」など、上図に掲げられた17の目標(Goals)の達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、すべての国々で取り組むべきとされています。